

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 5月19日～3月23日

項目	通学日時(時間)	実施場所 人数等	担当講師		実施内容(及び実施方法)
			[番号]氏名	要件	
1. 職務の理解 【基準時間6時間(うち通信上限0時間)】					
(1)多様なサービスの理解	5月19日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	介護保険サービス、介護保険外サービス(講義)
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	5月25日10:50～12:50(2時間) 6月30日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[7]山本将史 [18]石原純子	ア セ	介護現場の仕事内容、具体的イメージ、業務の流れ、チームアプローチ、連携(講義)
小計	6時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】					
(1)人権と尊厳を支える介護	5月26日10:50～12:50(2時間) 6月1日10:50～12:50(2時間) 6月2日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	人権と尊厳の保持、ICF、QOL、ノーマライゼーション、虐待防止、高齢者の人権擁護(講義)
(2)自立に向けた支援	6月8日10:50～12:50(2時間) 6月15日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	自立と自律、残存能力の活用個別ケア、重度化予防、
小計	9時間				
3. 介護の基本 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】					
(1)介護職の役割、専門性と他職種との連携	6月15日11:50～12:50(1時間) 6月16日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ セ	介護環境の特徴(居宅・施設)、介護の専門性、介護にかかわる職種(講義)
(2)介護職の職業倫理	7月14日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ セ	専門職の倫理、介護の倫理、プライバシーの保護(講義)
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	9月1日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	要因と対応技術、リスクとバード、事故予防、安全対策、感染対策(講義)
(4)介護職の安全	9月8日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	心身の健康管理(講義)
小計	6時間				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【基準時間9時間(うち通信上限7.5時間)】					
(1)介護保険制度	10月20日11:50～12:50(1時間) 10月27日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	制度創設の背景・目的、動向仕組みの理解等(講義)
(2)医療との連携とリハビリテーション	7月6日10:50～12:50(2時間) 7月7日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [4]四ツ村穰治	セ カ	医行為と介護、訪問介護看護と介護の役割リハビリテーションの理念(講義)
(3)障害者自立支援制度およびその他制度	9月15日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[2]福田誠治 [18]石原純子	サ セ	障害者福祉制度の理念、障害者自立支援制度の仕組みの基礎理解等(講義)
小計	9時間				
5. 介護におけるコミュニケーション技術 【基準時間6時間(うち通信上限3時間)】					
(1)介護におけるコミュニケーション	6月29日11:50～12:50(1時間) 7月13日10:50～12:50(2時間) 7月14日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[22]坂田美奈子 [18]石原純子	セ セ	コミュニケーションの意義、目的、役割、スキルとテクニック、利用者・家族とのコミュニケーション、状況に応じた技術(講義・演習)
(2)介護におけるチームのコミュニケーション	8月31日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[22]坂田美奈子 [18]石原純子	セ セ	記録における情報の共有化報告、コミュニケーションの環境、ケアカンファレンスの重要性(講義)
小計	6時間				

6. 老化の理解		【基準時間 6 時間（うち通信上限 3 時間）】				
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	9月21日10:50～12:50(2時間) 9月22日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	老年期の発達と老化に伴う心身の機能の変化の特徴と日常生活への影響(講義)	
(2) 高齢者と健康	9月 7日10:50～12:50(2時間) 9月 8日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[20]益田美子 [18]石原純子	ウ セ	高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 (講義) 高齢者の疾病と生活上の留意点 (講義)	
小 計	6 時間					
7. 認知症の理解		【基準時間 6 時間（うち通信上限 3 時間）】				
(1) 認知症を取り巻く状況	9月22日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	認知症々の理念 (講義)	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	10月 6日10:50～11:50(1時間) 10月19日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[21]吉野千加子 [18]石原純子	ウ セ	認知症の概念、原因疾患と病態、ケアのポイント、健康管理 (講義)	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	10月 6日11:50～12:50(1時間) 10月19日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[21]吉野千加子 [18]石原純子	ウ セ	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴、認知症利用者への対応 (講義・演習)	
(4) 家族への支援	10月20日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	認知症の需要過程での援助レスパイトケア (講義)	
小 計	6 時間					
8. 障害の理解		【基準時間 3 時間（うち通信上限 1.5 時間）】				
(1) 障害の基礎的理解	11月 9日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	障害の概念と I C F、障害者福祉の基本理念(ノーマライゼーション) (講義)	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識	10月26日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[6]西坂千賀子 [19]富吉一樹 [18]石原純子	サに 準ず る ア セ	知的障害、精神障害 身体障害、その他の心身の機能障害 (講義)	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	10月26日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[6]西坂千賀子 [19]富吉一樹 [18]石原純子	サに 準ず る ア セ	障害の理解、受容支援、介護負担の軽減 (講義)	
小 計	3 時間					
9. こころとからだのしくみと生活支援技術		【基準時間 7.5 時間（うち通信上限 1.2 時間）】				
I 基本知識の学習		(1.0～1.3 時間)				
(1) 介護の基本的な考え方	11月 9日11:50～12:50(1時間) 11月10日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	理論に基づく介護 (I C F の視点等) 法的根拠に基づく介護 (講義)	
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	11月16日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	学習と記憶・感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因等 (講義)	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	11月17日10:50～12:50(2時間) 11月24日10:50～12:50(2時間) 12月 1日11:50～12:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ セ	ボディメカニクス 人体の各部の名称と動き、骨・関節・筋肉、神経系、内部機関に関する基礎知識、体調の変化の気づきの視点、バイタル等 (講義)	
I 計	1.0 時間					

別紙様式 4

II 生活支援技術の講義・演習		(50～55時間)			
(4)生活と家事	6月10日10:50～12:50(2時間) 10月7日10:50～12:50(2時間) 10月21日13:50～15:50(2時間) 10月28日13:50～15:50(2時間) 1月20日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[15]友川弓子 [18]石原純子	セ セ	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 (講義4時間・演習6時間)
(5)快適な居住環境整備と介護	11月2日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[10]長田久美子 [18]石原純子	カ セ	高齢者・障害者の居住環境整備、福祉用具の活用 (講義2時間)
(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	11月11日13:50～15:50(2時間) 12月2日13:50～15:50(2時間) 12月16日13:50～15:50(2時間) 12月23日13:50～15:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [15]友川弓子	セ セ	整容に関する基礎知識、支援技術(衣服の着脱等) (講義1時間・演習5時間)
(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6月10日13:50～15:50(2時間) 7月1日13:50～15:50(2時間) 7月8日13:50～15:50(2時間) 9月2日13:50～15:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [15]友川弓子	セ セ	移動・移乗に関する基礎知識、用具とその活用方法、(体位変換、車椅子操作、移乗、移動介助、杖歩行等) (講義1時間・演習7時間)
(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	9月9日13:50～15:50(2時間) 9月16日13:50～15:50(2時間) 10月7日13:50～15:50(2時間) 11月4日13:50～15:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [15]友川弓子	セ セ	食事に関する基礎知識、食事環境の整備、用具の活用、介助の実際等 (講義2時間・演習6時間)
(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	1月26日10:50～12:50(2時間) 2月2日10:50～12:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [15]友川弓子	セ セ	入浴、清潔保持に関連した基礎知識、用語の活用方法、支援の方法等(清拭・部分浴の実際等) (講義1時間・演習5時間)
(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	1月13日13:50～15:50(2時間) 1月20日13:50～15:50(2時間) 2月3日13:50～15:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [15]友川弓子	セ セ	排泄の生理等基礎知識、用語の活用方法、支援方法 (講義1時間・演習3時間)
(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5月20日13:50～15:50(2時間) 5月27日13:50～15:50(2時間) 6月3日13:50～15:50(2時間)	本校10人	[18]石原純子 [15]友川弓子	セ セ	睡眠に関する基礎知識、睡眠環境の整備、用具の活用、支援の方法 (講義1時間・演習7時間)
(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	12月14日10:50～12:50(2時間)	本校16人	[18]石原純子	セ	終末期に関する基礎知識、介護従事者の基本的態度等 (講義2時間)
II計		54時間			

III 生活支援技術演習		(10～12時間)			
(13)介護過程の基礎的理解	12月15日10:50～12:50(2時間) 12月21日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	介護過程の目的・意義・展開 介護過程とチームアプローチ (3時間)
(14)総合生活支援技術演習	12月21日11:50～12:50(1時間) 12月22日10:50～12:50(2時間) 1月12日10:50～12:50(2時間) 1月18日10:50～12:50(2時間) 1月19日10:50～11:50(1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	事例による展開(要因の分析・支援技術の検討・演習) (8時間)
III計		11時間			
小計		75時間			

別紙様式 4

10. 振り返り					【基準時間 4 時間（うち通信上限 0 時間）】	
(1) 振り返り	2月 8日 10:50～12:50 (2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	研修のまとめ(講義 2 時間)	
(2) 就業への備えと 研修修了後における 継続的な研修	2月 9日 10:50～12:50 (2時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	現場での研修・研鑽、キャ リアパス(講義 2 時間)	
小 計	4 時間					
合 計	1 3 0 時間					
修了評価					【基準時間 1 時間以上】	
項目	通学日時 (時間)	実施場 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法	
			【講師番号】氏名	要件		
修了評価	2月22日 11:50～12:50 (1時間)	本校10人	[18]石原純子	セ	評価テスト	

注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数（科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする）を記載する。

注3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表（別紙様式5）に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。